

農地整備課



次世代を担う子供たちに農業資産「円筒分水工」の仕組みを説明

1 農業生産基盤の整備状況

(1) 管内概況

上伊那地域は、天竜川及び三峰川の沿岸に広がる水田地帯と、西部に広がる畑地帯に大別されます。

<水田地帯>

県営かんがい排水事業等により、昭和初期から農業水利施設の整備が進められ、安定した農業用水が確保されてきました。

また、昭和40年代から広範囲で行われた、県営ほ場整備事業等により、農業生産性の向上と農業構造の改善が図られています。

※ 大区画ほ場での無人自動田植機による田植え
県営ほ場整備事業 下平地区（駒ケ根市）



<畑地帯>

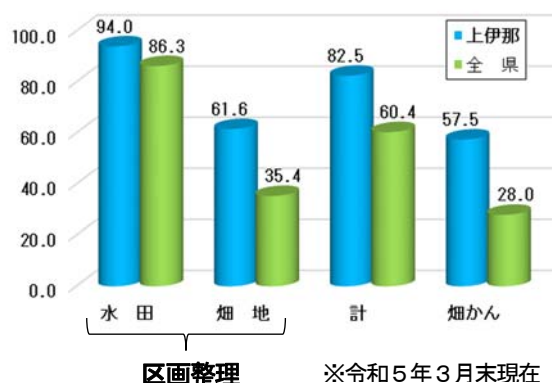
昭和40年代から50年代にかけて、国営かんがい排水事業及び県営畑地帯総合土地改良事業により、畑地かんがい施設等が整備され、野菜や果樹を中心とした農業経営が展開されています。

※ かんがい施設の整備により収量や品質が安定した果樹
県営畑地帯総合土地改良事業 伊那西部地区（伊那市）



(2) 農業生産基盤の整備状況

管内の水田整備率は、94.0%（県86.3%）、畑地帯整備率は、61.6%（県35.4%）、畑地かんがい施設の整備率は、57.5%（県28%）に達し、県全体の整備率を大きく上回っています。



2 長野県農業農村整備計画に沿った施策の展開

➤ 計画概要

農業水利施設の長寿命化対策、担い手への農地集積・集約化、所得向上につながる農地の条件整備、ため池や水路橋の耐震化対策、自然エネルギーの活用等に取り組みます。

➤ 上伊那管内の実施予定（R6.5.1時点）

令和6年度事業費 21億7,391万円（令和5年度最終比 92.2%）

内訳

R5明許繰越	3億6,993万円
R6当初分	18億399万円

(1) 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

生産基盤 【経営体育成基盤整備、かんがい排水等】

- 生産効率の高い農地の整備
 - 農地の区画拡大や農業用水管理の省力化の推進
 - 作物の品質と収益性の向上を目指した農地の整備
- 農業用水を安定供給するための農業水利施設の長寿命化
 - 農業水利施設の適切な保安全管理
 - 重要構造物の耐震・長寿命化の推進



整備された水門 春富6号地区（伊那市）

(2) 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

農地防災 【農村地域防災減災対策、地すべり対策等】

- 農村の暮らしを守る防災減災対策
 - ため池の安全対策の推進
 - 地すべり防止施設の長寿命化の推進



ため池監視システムが設置された千人塚城ヶ池（飯島町）

農村整備 【農業水利施設の自動化・遠隔化、農道整備等】

- 農業水利施設の自動化・遠隔化
 - 農業水利施設に係る水門の自動化・遠隔化の推進
 - 農業用水を活用した小水力発電施設の導入促進
- 農業水利施設の適切な保安全管理体制の構築
 - 農地や水を守る土地改良区の人材育成や運営強化
- 定住条件の確保に向けた農地等の整備
 - 地域の特徴を活かす生産基盤と生活環境の整備



整備された広域農道（飯島町）

(3) 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- 多様な主体の参画により進める多面的機能の維持
 - 農村を支える多様な主体の協働による取組を支援
- 農業資産が有する魅力を観光や学びに活用する取組の推進
 - 棚田等の農業資産を観光や地域学習に活用する取組を支援



美しい景観を有する飯沼の棚田（中川村）

(1) 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

- 農産物の生産に不可欠な農業用水を安定的に供給するため、新井地区（県営かんがい排水事業：飯島町）等において、機能診断に基づく補修・補強などの長寿命化対策を進めます。
- 農業の競争力強化を図るため、東原地区（伊那市）において、区画整理による担い手への農地集積・集約化を進めます。



※ 狭小な区画と未整備の農道
経営体育成基盤整備事業 東原地区（伊那市）

➤ 上伊那管内の実施予定

県 営：かんがい排水事業
経営体育成基盤整備事業
中山間総合整備事業

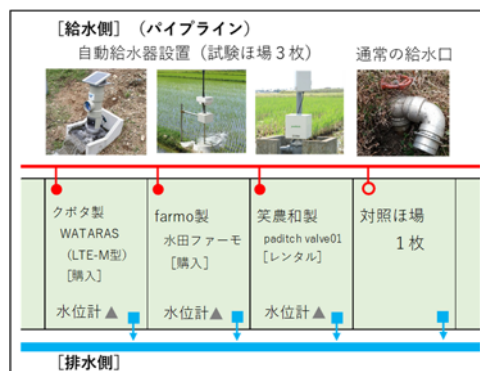
新井、伊那西部3期
東原
日曽利

単位：千円

区 分	事 業 名	地区数	6年度事業費 (前年からの繰越含む)
県 営	かんがい排水事業	2	80,000
	経営体育成基盤整備事業	1	70,000
	中山間総合整備事業	1	50,000
	小 計	4	200,000
団体営	地域農業水利施設ストックマネジメント事業	2	65,000
	基盤整備促進事業	2	55,000
	長寿命化防災減災事業	6	161,574
	農地耕作条件改善事業	2	61,103
	農地整備・集約協力金	1	4,950
	県単農業農村基盤整備事業	7	28,240
	小 計	20	375,867
合 計		24	575,867

- パイプライン用の自動給水器を導入し、水管理の省力化の効果や機能性等の検証を行うことで、水田におけるスマート農業の推進を図ります。

また、ICTを活用した「スマート田んぼダム」等の試験ほ場を設置して効果等を検証することで、流域治水対策の推進を図ります。



※ 機能検証イメージ図
(実施場所：駒ヶ根市下平地区)

(2) 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

- 地震に起因する損傷等による被害を防止するため、箕輪地区（高速道路跨道橋[水路橋]：箕輪町）や花の里地区（高速道路跨道橋[水路橋]：飯島町）等において、農業水利施設の耐震対策を進めます。
- 農村地域の農業振興や農産物輸送の効率化、交通の利便性向上を図るため、飯島地区（飯島町）等において、基幹農道の維持補修及び歩道の整備を進めます。
- 農業者の維持管理労力の軽減や、大雨時における安全の確保を図るため、農業水利施設の自動化・遠隔化、農業用水を活用した小水力発電施設の建設を支援します。

➤ 上伊那管内の実施予定

県 営：農村地域防災減災事業	飯島、花の里、大徳原、箕輪、北割、大久保、三日町頭首工
農道整備事業	飯島
地すべり対策事業	下芝平、長谷
県単事業等	上井

単位：千円

区 分	事 業 名	地区数	6年度事業費 (前年からの繰越含む)
県 営	農村地域防災減災事業	8	624,350
	農道整備事業	1	100,336
	地すべり対策事業	2	64,577
	県単地すべり防止施設等管理委託事業	2	690
	県単緊急農地防災事業	1	4,054
	小 計	14	794,007
団体営	農村地域防災減災事業	2	24,000
	基幹水利施設管理強化事業	1	72,264
	水利施設管理強化事業	7	20,098
	土地改良施設 PCB 廃棄物処理促進事業	1	399
	農業集落排水事業	3 ※	61,500
	地籍調査事業	5 ※	41,400
	農地・農業用施設災害復旧事業	2 ※	124,148
小 計	21	343,809	
合 計		35	1,137,816

※市町村数

小水力発電施設の建設：美和発電所 12kW（平成27年稼働）
 春富水力発電所 197kW（平成29年稼働）



※ 農業用水を活用した小水力発電
 春富水力発電所（伊那市）

(3) 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

○ 農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域が協働して取り組む保全活動や、地域資源の質的向上に資する活動を支援します。

➤ 上伊那管内の実施予定

団体営：多面的機能支払事業 伊那市 他7地区 92組織

単位：千円

区分	事業名	地区数	6年度事業費
団体営	多面的機能支払事業	8	439,831
合計		8※	

※市町村数




※ 農業用排水路の泥上げ作業（伊那市）



※ 水路の補修（箕輪町）

- 「農業用水探検隊」の開催を通じて農業資産の魅力を発信し、ふるさとに愛着と誇りを持つ人材の育成に取り組みます。




※ 施設の役割を説明（伊那西部第1揚水機場）

～農業用水探検隊～

農地整備課では、上伊那管内の農業水利施設の歴史や役割、農業の大切さを学習する「農業用水探検隊」を平成19年度から開催しています。

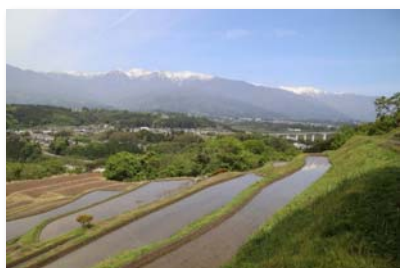
西天竜幹線用水路の円筒分土工（表紙）や伊那西部第1揚水機場、西天竜発電所等の見学会を開催し、令和5年度までの17年間で、4市町村（伊那市、辰野町、箕輪町、南箕輪村）の9小学校（延べ3,664人）と伊那北高等学校（36人）の生徒が参加しています。

今年度は実施範囲を三峰川周辺にも拡充して実施する予定です。



※ 小学生へ配布する郷土学習資料

- 農林水産省「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来～」に認定された3箇所の棚田について、地域活性化の支援及び魅力の発信に取り組みます。



※ 飯沼の棚田（中川村）



※ 中尾の棚田（伊那市長谷）



※ 山室の棚田（伊那市高遠）

- 農林水産省「ため池百選」に選定された2箇所のため池を中心に、ため池にまつわる地域の魅力を広く発信することで、管理や保全に対する意識を高めるとともに、農村地域の活性化を支援します。



※ 千人塚城ヶ池（飯島町）



※ 荒神山ため池（たつの海）（辰野町）